

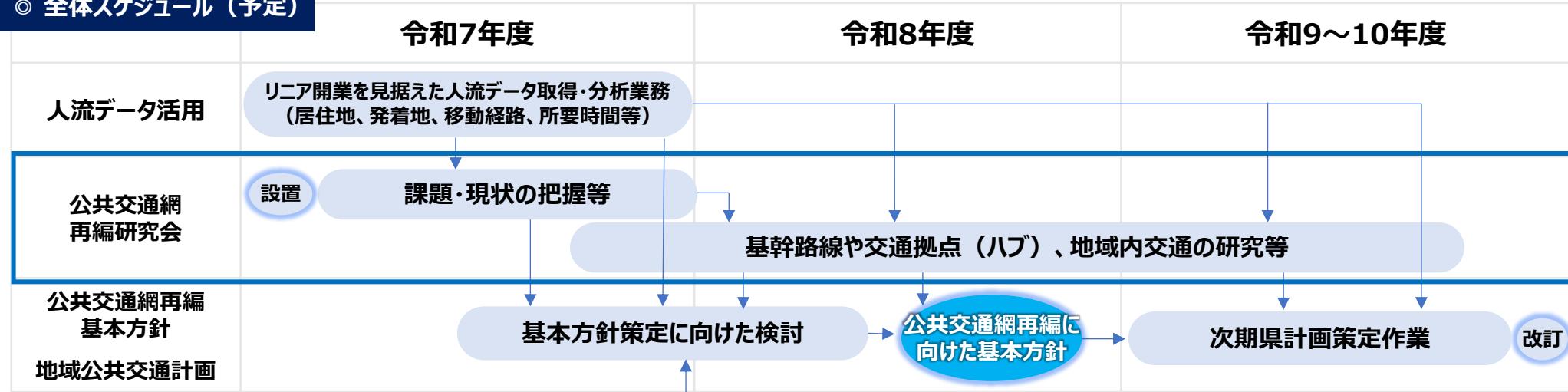
山梨県公共交通網再編研究会の設置及び今後の進め方

令和7年6月13日

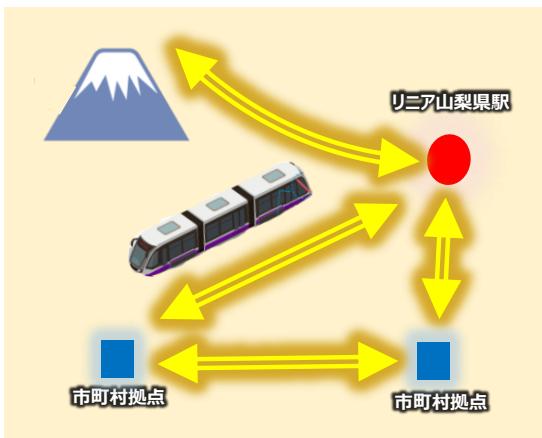
令和7年度第1回山梨県地域公共交通協議会 提示資料

- ・次世代モビリティ等を活用し、交通弱者にも配慮した新たな公共交通網を構築
- ・リニアの利用者数や停車本数増加の好循環を生み出し、開業効果を最大化

◎ 全体スケジュール（予定）



【県の役割】



新たな交通体系の検討
基幹路線の整備
(富士トラム等の
次世代モビリティ)

市町村拠点から先は
それぞれの地域において
実情に応じた交通手段を確保
(デマンド交通、公共ライドシェア等)

【市町村の役割】



山梨県公共交通網再編研究会の設置及び今後の進め方

県内公共交通の抜本的高度化に向けて、県と市町村が一緒に研究を重ねていくため、
山梨県公共交通網再編研究会を設置

山梨県地域公共交通協議会 (法定協議会)



報告



自動運転バスの実証事業の様子（令和5年度）

研究会

メンバー： 県内全市町村（課長クラス）

- 富士トラムなどを活用した新たな公共交通網における基幹路線の整備に向けた方針整理
- 市町村ごとの交通課題把握・分析
- 交通弱者対策における役割の明確化・分担 等

WG

メンバー： 関係市町村（係長クラス）

- 地域や交通課題など、必要に応じて設置

STEP1：課題・現状の把握

- 位置情報に基づく詳細な人流データを分析し、現状を把握
- 市町村等へのアンケート調査などを実施し、各市町村が抱える交通課題等を把握
- ⇒課題解消に向けた共同研究（実証）案の策定・実施

STEP2：基幹路線等の研究

- 富士トラム構想の策定を受け、既存の交通手段からの転換に向けた基幹路線、交通拠点（ハブ）等を研究
 - ⇒公共交通網再編に向けた基本方針の策定（令和8年秋を予定）
 - ⇒基本方針をもとに、次期の県地域公共交通計画を策定

STEP3：地域内交通の研究

- 新たな基幹路線等と組み合わせた、ラストワンマイル需要に応える地域内交通を研究
- ライドシェア・自動運転技術などの活用可能性も研究
- ⇒市町村の地域公共交通計画策定を支援